

幡多の太陽

令和2年1月8日 第17号

新年 明けましておめでとうございます 本年もよろしく願っています

新年あけましておめでとうございます。昨年の年末から今年の年始にかけては例年に比べ比較的暖かい日々となりました。ちまたでは、インフルエンザの流行期になったというニュースを耳にするようになりました。土佐清水市内の学校においてもインフルエンザにかかった児童・保護者がいるという話を聞きました。暖かい年末・年始でしたが、これから寒さも増し、インフルエンザにかかる

HAPPY
NEW YEAR 2020

旧年中は大変お世話になりました
本年もよろしく願っています



可能性も高くなります。十分、お気を付けてください。また、お子様にも予防のため、うがい、手洗いをさせるようにしてください。願っています。

さて、昨年は、行事等において地域や保護者の皆様にはいろいろご協力していただきとても助かりました。昨年度より幡陽小学校が指定事業として受けていた高知県実践的防災教育推進事業の研究発表会も終え、一段落つきました。しかし、南海トラフ地震を始め、台風や大雨等、自然災害がなくなったわけではなく、今後も防災教育には取り組んでいかなければなりません。2学期末に沖縄と北海道で地震があり、学校に設置されている地震津波警報機が1週間のうち2回作動しました。作動した2日とも1年生から6年生までの全児童が机の下に「サル」になり、避難行動がとれていました。沖縄のときには、空振りでもいいので津波の心配も考え、校庭に避難しました。その時も、迅速に避難行動がとれました。幸い、2つの地震では揺れもなく、津波もなかったのですが、このような行動がとれるということは、2年間実践的防災教育に取り組んできた成果だと思いました。

早いものです、もう1月。今年度の授業日数もあと51日(1月8日含む)となりました。1年間の授業日数が202日ですので、3学期は年間授業日数の約4分の1しかないということになります。それぞれの学年が、次の学年、学校への準備期となり、1年のまとめの時期になります。特に、5年生は6年生からいろいろなことを引き継ぐ時期です。6年生からいろいろ教えてもらってください。

共同募金 ご協力ありがとうございました

幡陽小学校児童会が中心となり、赤い羽根共同募金に取り組みました。全部で5558円も集まりました。12月25日に児童会役員が、社会福祉協議会まで届けてくれました。

また、12月19日には、市民文化会館くろしおホールにて開催されていた土佐清水市社会福祉大会に全校児童で参加しました。鼓笛隊演奏、そして、幡陽っ子防災ソングをステージで披露しました。この大会に参加していた皆様はもちろん、主催者である社会福祉協議会の職員さんにも素晴らしい演奏、歌であったとほめていただきました。わたしも、観客席から見えていたのですが、鼓笛の演奏もビシッときまり伝統の重みを感じることができる素晴らしい演奏でしたし、防災ソングもとても声が出ていました。歌詞の中に高齢者のことに触れているところがあり、この社会福祉大会にも合ういい歌だなあと思いました。きっと、高齢者の皆様に元気を与えられたと思います。そんな、発表ができました。



大敷網漁の学習 ありがとうございました

11月18日、5・6年生が、地場産業である「大敷網漁」について学習しました。まず、大敷組合に行き、研修室で組合長さんから大敷網漁に関するお話を聞きました。その後、船に乗り、窪津沖に設置している大敷まで行き、漁をしているところを見せていただきました。網の中には、カンパチやシイラなどが入っていました。子どもたちは、船上でさばいた刺身をほおばり、おいしそうに食べていました。組合の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。



以布利大敷組合長の中平さんから大敷網漁について話を伺いました。質問に答えていただきました。



海に出て、漁を見学しました。魚を船上でさばいてもらい、実食しました。

